

第 96 回番組審議委員会議事録

日時：令和 4 年 1 月 19 日（水）13 時 30 分～

場所：富士市民活動センター/コミュニティエフ（富士市吉原 2 丁目 10 番 20 号）

1. 委員総数 7 名
2. 出席委員数 5 名
3. 出席委員の氏名

稲葉美津江 委員長・長橋順 委員・青木洋一 委員・内藤佑樹 委員・安藤滋 委員
（順不同）

4. 放送事業者出席者名

小沢教司 代表取締役社長・山本茂 放送局長

稲葉委員長ご挨拶：あけましておめでとうございます。

オミクロン株が増えてきて富士宮の学校ではクラスターがあったそうなので、
お互いに気を付けていきましょう。

小沢：今回もお忙しい中ありがとうございます。

静岡では昨日 500 人以上がコロナに感染したということですが、身近なところでも出てきていますのでみなさんも気を付けてください。

それではよろしくお願いします。

山本 前は「文集ふもとから」を審議いただきました。

HP にも掲載させていただきましたのでご覧ください。

番組審議

- ・テーマ 番組「ビバラ富士山女子駅伝～地元目線の副音声ラジオ～」
- ・放送日時 2021 年 12 月 30 日 10：00～12：45
- ・出演 ナビゲーター キャッチャー渡辺・保科紀子
- ・番組編成制作方針、説明
- ・質疑応答

山本：今回の審議は昨年12月30日に放送した「ビバラ富士山女子駅伝」という特別番組です。富士山女子駅伝のテレビ中継をスタジオで見ながら、独自の視点で応援する番組です。富士山女子駅伝に合わせた特別番組は毎年放送していますが、毎年担当者も変わり、フォーマットも決まっています。

今回は私（山本）が担当をして、ビバラスポーツのキャッチャー渡辺さんとエフスポーツの保科紀子さんをキャスティングし、テレビを見ながらの副音声的な応援番組を放送しました。

番組の構成としては2時間45分の中で、ブリッジ的にコーナーをいくつか入れています。

1つめは、2次元が大好きな女子による、オタク用語の「腐女子」と富士山女子駅伝の「富女子」をかけたクイズコーナーを放送しました。

2つ目は、地元ドキュメントコーナーでレポーターは渡辺が担当し、地元で駅伝を支えている行政スタッフに開催のいきさつなどをインタビューしたコーナーを放送しました。

今日お聴きいただくのは、4つのパートを編集したものをお聴きいただきます。

オープニング、エース区間の5区、先頭ゴール、エンディングの4パートです。

約10分後

山本：それでは審議をお願い致します。

長橋委員：副音声的なのが面白く、女性の声も聴きやすかったです。テレビがCMに入ってもラジオは聴けて様子が分かるのが良いと思いました。いい企画で内容も良かったです。

青木委員：保科さんの陸上ネタとキャッチャーさんの情報量の差を感じました。

山本：キャッチャーさんはスポーツ全般やっていますが、駅伝に関しては保科さんがとても詳しく、今でもトレイルランニングをやっている方です。今回は役割分担をして、保科さんは専門的なこと、キャッチャーさんにはまちの情動的なことを主に話してもらい、それぞれのキャラクターが引き立つようにしました。保科さんは出場校の監督と知り合いなので、結構細かい情報も仕入れていました。

内藤委員：今回もコロナの関係で商店街に出て応援してはいけなかったもので、各学校名が入ったパネルを商店街に立てて応援しました。ラジオエフに持っていったら急遽スタジオ内に入る流れになりました。商店街のスピーカーからもラジオエフが流れているので、商店街全体で応援している雰囲気になりました。番組も、お茶の間的にやっている感じがちょうど良かったです。

山本：番組は毎年試行錯誤をしながら制作しています。

小沢：私のところにもラジオを聴いていた人から良かったという声を聞きました。

安藤委員：今回初めてテレビ中継を最初から最後まで見ましたが感動しました。
先程のラジオを聴いて、はじめは淡々とトークをしていてその後の展開がどうなるのか気になりましたが、タイトルコールをしてから一気に加速した感じがして、保科さんの駅伝に対する熱も感じました。

稲葉委員長：主婦からすると年末の 30 日は忙しく、なかなか見たり聴いたりする機会もありますが、去年はテレビを見ることが出来ました。中継の中で松野明美さんが選手のちょっとした情報などを言うときがありますが、ラジオでもそういった情報を言っているということで、テレビを見ながらラジオを聴くのも面白いのではないかと思います。
また、番組冒頭で今回の特別番組を「駅伝中継をお茶の間で寝ころんでみるような感じ」と言っていましたが、その感じが伝わって面白かったです。

青木委員：テレビは音声を切って映像だけ見て、ラジオを聴くのもいいかもしれませんね。

長橋委員：この特別番組ではコマーシャルはあるのでしょうか？

山本：地元企業から協賛いただいた CM が入ります。

稲葉委員長：こういった番組を放送していることをもっと宣伝した方がいいと思います。

安藤議員：せっかくならラジオエフのインスタグラムなど SNS で駅伝番組の様子をアップすれば、沿道の雰囲気分かりますし、フォロワーも増えると思うので良いのではないかと思います。

山本：SNS の運用は各ディレクターの裁量なのですが、次回はそういったことも考えていきたいと思っています。それでは今日はこれで終了したいと思います。

小沢：次回は、3 月 16 日水曜日です。本日はありがとうございました。